

建設物価 建設資材物価指数[®] 2025年4月分 【速報】

建設物価 建設資材物価指数は、建設資材の総合的な価格動向を明らかにすることを目的に作成されており、その対象を建設工事で直接的に使用されている建設資材に限定した物価指数です。なお、本指数は2015年平均を100として算出しています。

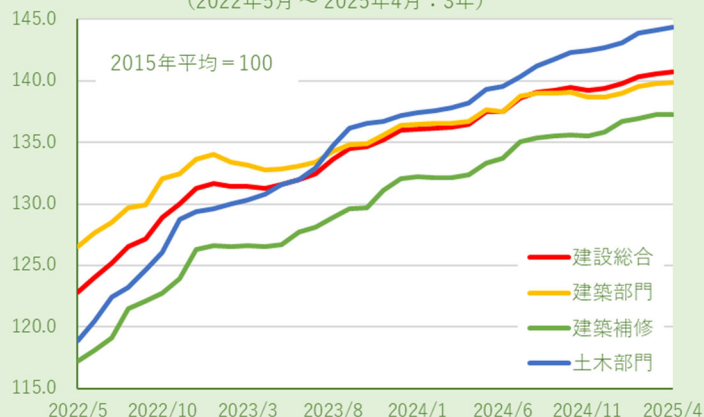
1. 指数の動向（全国平均）

2025年4月の建設資材物価指数の動向は、**建設総合**(全国平均)が**140.7**となり、前月比+0.1%(+0.1ポイント)と**5カ月連続の上伸**となった。前年同月比では+3.1%(+4.2ポイント)となった。

部門別では、**建築部門**が**139.9**となり、前月比+0.0%(+0.1ポイント)と**5カ月連続の上伸**となった。前年同月比では+2.3%(+3.2ポイント)となった。**建築補修**は**137.3**となり、前月比+0.0%(+0.1ポイント)と**5カ月連続の上伸**となった。前年同月比では+3.7%(+4.9ポイント)となった。**土木部門**は**144.4**となり、前月比+0.2%(+0.3ポイント)と**2020年6月以降59カ月連続の上伸**となり、最高値を更新した。前年同月比では+4.4%(+6.1ポイント)となった。

建設資材物価指数【全国平均】

(2022年5月～2025年4月：3年)



2. 前月比寄与度（大分類別・全国平均）

プラス寄与

【窯業・土石線品】生コンクリート

製造コストや輸送コストの増加を要因としたメーカーの値上げが浸透し、指数動向のプラスに寄与

【石油製品・舗装材料】燃料油

元売りの実質仕切価格の引き上げにより、販売店の値上げが浸透し、指数動向のプラスに寄与

マイナス寄与

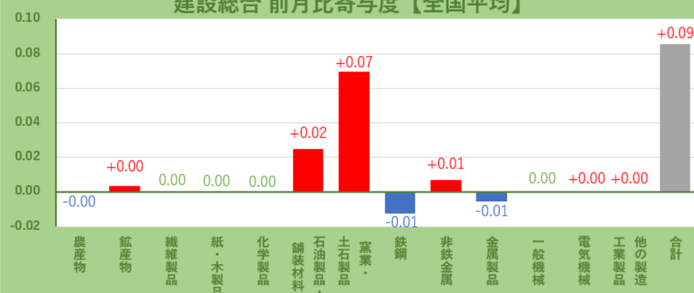
【鉄鋼】H形鋼

需要減少による販売店間の受注競争激化に伴い市況が続落し、指数動向のマイナスに寄与

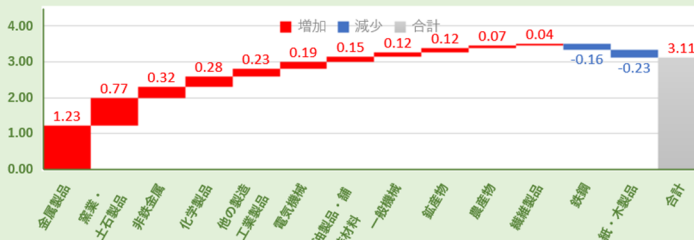
【金属製品】ステンレス製品

原材料相場の下落及び販売店間の受注競争によりステンレス鋼が値下がりし、指数動向のマイナスに寄与

建設総合 前月比寄与度【全国平均】



建設総合 前年同月比寄与度【全国平均】



3. 都市別の動向（建設総合部門）

上記のプラス寄与要因のほか、国際的な相場価格の上伸による銅製品やアルミ製品の値上がりが各都市の指数動向のプラスに寄与した。

都市別に見ると【仙台】（前月比+0.6%）では、原材料費の上昇や輸送コストの増加などを背景に、生コンクリートの価格が大幅に上伸し、指数動向のプラスに大きく寄与する結果となった。また、【名古屋】（同+0.1%）では、生コンクリートの他に、砂やコンクリート製品の価格が上伸し、指数動向のプラスに寄与した。一方、【札幌】（同-0.0%）では、燃料油や銅製品のプラス寄与があったものの、異形棒鋼の価格が下落し、総合的な指数動向はマイナスとなった。

各地の建設総合部門の指数【2025年4月分】

全国平均：140.7	新潟：137.6	札幌：141.5
前月比 +0.1%	前月比 +0.0%	前月比 -0.0%
前年同月比 +3.1%	前年同月比 +3.5%	前年同月比 +3.5%

広島：139.7	大阪：144.1	仙台：136.7
前月比 +0.0%	前月比 +0.0%	前月比 +0.6%
前年同月比 +3.7%	前年同月比 +2.8%	前年同月比 +3.6%

福岡：142.4	那覇：139.5	高松：148.8
前月比 +0.0%	前月比 -0.0%	前月比 +0.0%
前年同月比 +2.8%	前年同月比 +2.9%	前年同月比 +4.2%

名古屋：141.8	東京：140.0
前月比 +0.1%	前月比 +0.0%
前年同月比 +2.5%	前年同月比 +3.1%

一般財団法人
建設物価調査会

【指数に関するお問合せ先】

総合研究所 経済研究課

TEL：03-3663-7235 E-mail：econ@kensetu-bukka.or.jp

【資材価格に関するお問合せ先】

調査統括部 調査統括課

TEL：03-3663-3892 E-mail：toukatsu@kensetu-bukka.or.jp